

日本学術会議 史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会
第24期 第2回会議 議事要旨

日時：2018年10月22日（月）13時～15時

場所：日本学術会議 6-A（1）会議室

出席者：久留島典子・井野瀬久美恵・海妻径子・小浜正子・高澤紀恵・姫岡とし子・平野千果子・星乃治彦・松本直子・三成美保（10名）

議題

- (1) 提言書作成へ向けて議論し、以下のようなことが確認された。
 - ・タイトルは「学校教育における「無意識のジェンダー・バイアス」の克服－歴史的視点を生かしてダイバーシティの実現をめざす」とする。
 - ・提言の文章原案を分担して起草する。各担当者は文案を分科会役員に送り、役員のとりのまとめを経て、次回分科会（2019年4月初旬）で決定する。
 - ・来年度のゴールデンウイーク明けには幹事会に提出し、夏休み前に提言を完成させるものとする。
- (2) 提言の完成後、8月第一週を目途に、分科会の主催によるシンポジウムを行い、議論を深め社会的な周知を目指す。

以上